



東生会東京支部だより

東生会東京支部は、兵庫県立姫路東高等学校の卒業生で東京および東京近辺に在住する方を会員とする同窓会「東生会」の支部組織です。ホームページ <http://www.tohseikai-tokyo.org>

第9号

2017.9.1発行
編集発行:
東生会東京支部
運営委員会

東京支部結成 50 周年に寄せて 田中祥堯(高 3 回)

今となつては 50 年も昔のことになりますが、昭和 41 年、当時東生会の会長であった栗原英生氏からの強い要請もあつて、柚木幹生氏(高 1 回)と私(田中祥堯、高 3 回)は、多少の苦労はありましたが、何とか関東在住の東高卒業生を集めて、東生会東京支部を結成するまでに漕ぎつけました。関東在住の卒業生は社会人が約 200 名、各大学に在学する学生が約 100 名、合計 300 名の所在をほぼ確認することが出来たのです。

支部結成の総会は、年が明けて昭和 42 年 1 月 15 日、神田の学士会館で開催され、東生会本部からは栗原会長や中島利一郎、大西壬の両副会長、学校からは脇屋義郎校長や校内幹事の先生方のご出席下さった。

また、在京の県女の卒業生には、東京弥生会という歴史のある同窓会があり、当日は会長さんほか代表の方々 3 名程出席して下さいました。

本体である東高卒業生は、115 名が集まり、出席者の総数は 125 名にのぼりました。

関東在住の会員達は、姫路から上京された東生会の正副会長や先生方のお話を伺ったり、また会員同士の旧交を温めたりして、歓談に時の過ぎるのも忘れ

る有様でした。そして、支部長には柚木幹生氏(高 1 回)、副支部長には坂本斐子さん(高 1 回)及び田中祥堯(高 3 回)と決まり、東高の万歳を三唱して支部結成総会を終えました。

振り返ってみますと、この結成総会の時、関東在住の学生の方々の調査に当たってくださったのが、当時中央大学の学生であられた大西勉氏(高門会)でした。同氏は卒業後、衆議院事務局に勤務され、調査局長等の要職をご歴任の後、先年ご退職になりましたが、この春には積年のご功績により、叙勲の栄に浴されました。まことにおめでたいこととお祝いを言上させていただきましたが、このようなご慶事にも改めて 50 年という時の流れを感じる次第でございます。



「東生会東京支部の集い」開催報告～昨年の報告と今年の開催(支部設立 50 年)～

平成 28 年度「東京支部の集い」は秋晴れに恵まれた 11 月 20 日(日)、学士会館に 126 名の皆様に参加し盛大に開催されました。

「集い」は中沢幸世様(28 回)と安部哲哉様によるピアノとアルトサクソフォンのデュオ・ミニコンサートで幕を開けました。ご来賓として、姫路から母校の田麿幸夫校長先生や恩師の先生方、山野俊二東生会会長、大西壬名誉会長を始め東生会本部の役員の皆様方、小林正受京阪神支部代表幹事、兵庫県及び姫路市東京事務所の所長・次長、白城会東京支部の役員の皆様方にご出席を賜りました。

校長先生からは母校の躍進ぶり、会長からは母校創立 110 周年行事予定についてご報告がありました。

次いで姫路名産品の抽選会、会員諸氏の近況報告、新学生の自己紹介、中沢様のピアノ伴奏による全員合唱の「歌声東生会」があり、集いは盛り上がりました。このように 3 回生から 68 回生(学生)まで幅広い交流がなされ、盛大に集いを開催することができました。

今年の「集い」は昭和 42 年の東京支部設立大会から 50 年となります。今回も 50 年前と同じ学士会館にて平成 29 年 11 月 19 日(日)に開催します。今回は元支部長の田中祥堯様(3 回)から当時の様子をお話して下さいます。会員の皆様は 50 周年を祝い、一体感のある「集い」にしたいと考えております。皆様方多数のご参加をお待ちしております。

(東京支部 支部長 清土恒雄(高 18 回))

